

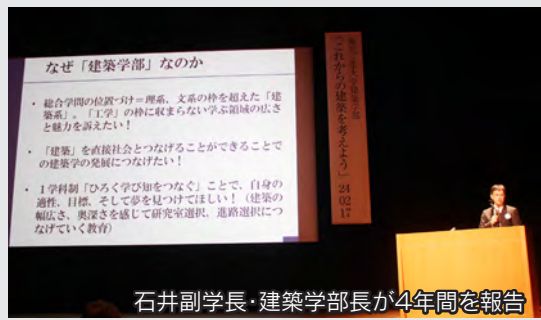
建築学部完成記念報告会、記念講演会

「これからの建築を考えよう」

2月17日に、建築学部完成記念報告会、記念講演会「これからの建築を考えよう」を仙台市の仙台国際センターで開催した。学部開設当初はコロナ禍で記念事業を延期していたため、建築学部最初の卒業生を輩出する4年目の節目を「完成年度」と位置付け、記念報告会と講演会を企画。当日は学部生、各業界で活躍する同窓生などの関係者、入学を予定している高校生など約850人が集まった。建築学部立ち上げから4年間の振り返りとともに、建築家の伊東豊雄氏（伊東豊雄建築設計事務所）と妹島和世氏（妹島和世建築設計事務所）らが講演やディスカッションを行い、学部の「完成」を祝った。

建築学部完成記念報告

「東北工業大学建築学部の4年間の歩み」



はじめに、石井副学長・建築学部長が建築学部の4年間の歩みを報告した。この中で石井副学長・建築学部長は、立ち上げの経緯や意義、コロナ禍での学生のモチベーションを維持するための取り組みなどを説明。東北工大の建築学部でしかできない学びを提供するとともに、「ものづくりの工学部 暮らしをつくるライフデザイン学部を建築学部がつなぎあわせることで、大学全体としてさらに安定した姿を見せることができる」と語った。



講演 「建築学部のこれから」

東北工大に先駆けて2011年に建築学部を発足した工学院大学の野澤康副学長と近畿大学の岩前篤副学長が「建築学部のこれから」と題して講演。それぞれ設立から13年経過した建築学部の状況や、今後目指すべき方向性などを説明した。



工学院大学 野澤康副学長

2015年の完成年度にはカリキュラムの大幅な見直しを行い、22年にはBIMなど新しいデジタル教育を導入した。24年度からは新しい英語教育、設計教育などを取り入れる。建築学部・建築教育はこれから多様化、グローバル化、デジタル化が求められると認識している。学部の枠を超えた他分野とのコラボレーションやグローバルに活躍するキャリアモデルの構築、デジタル・アナログの融合なども考えていくべきだ。



近畿大学 岩前篤副学長

近畿大学では、コロナ禍を契機に共通科目のオンデマンド化を進めた。今後、女子学生の増加や教育科目の再点検、教育課程の改善（入試科目、授業科目構成、採点方法など）が必要だと考えている。新たな取り組みとして25年度から、入試がいらぬ社会人対象の通信制による教育課程（リスニング）を新設する計画だ。学びたいものへ門戸を広げる。また、若手教員の海外研修や成績優秀学生の短期留学インターシップの支援なども展開したい。



建築学部生らによる集合写真

ます。大学としても合格した先輩を後輩に紹介するなど、合格者の連鎖を次の学年、世代につなげる取り組みも進んでいます。大学としても、大学の学びに加えて資格取得を目指すことは大いに奨励されています。大学時代に努力した証として残るもので、積極的にサポートしていきましょう。

学生には建築学部でのような学問を学んでほしいですか。

渡邊 建築学は技術的な面、歴史、地域性などさまざまな視野、素養が求められる分野なので、奥行きと幅の広い議論ができるという面白さを感じてもらえると思います。加えて、建築を勉強してきたことは社会に出た時に強みとなります。さまざまな分野で必要とされています。将来的に建築の世界に必ず進まなければならないと思わず、ほかの分野で建築の知識や能力を活かすこともできます。学部化によりその特性を伝えやすくなりましたし、出口の幅が広がって考えやすくなりました。「皆が住む家や生活の場所を「つくる」という伝えやすさ、分かりやすい学問だと思います。一方で、背景にある社会の状況、事情を反映させることも大切では。例えば、自然災害が頻発化している中で、家屋倒壊の原因解明や耐震性能向上、さらには復興・まちづくりなど建築

が担う役割は大きいです。また、建築費の高騰や、働き手の不足など、建築を取り巻く社会的な状況も知った上で学んでほしいです。学生の間は、そのような要素をほとんど意識しなくても建築を学べますし、卒業することもできます。しかし卒業後はそうはいかない。これから時代は経済的な視点も含めてデザインや空間を考えていく必要があるから、要請に応えられなければならない。建築を通してさまざまな社会が見える、つながりを実感できる学問なのでその面白さも伝えていきたいです。

建築学部の今後の方向性は。

石井 学部設置から4年が経つ中で、あらためてカリキュラムや学びの仕組みを含め少し変えていかなければならないと考えています。10を超える大学の建築学部を立ち上げ、建築学部にしただけで注目され、学生が集まってくる時代は終わりました。改めて他大学と差別化を図り、「こゝ仙台東北だからこゝを学べる建築学部」など新たなカラーを出していかなければなりません。また、講義の中身も時代に即した、求められているものに合わせ、アップデートしていく必要があると思います。4月から大学院も工学研究科から分離し、建築学は計画・設計・構造・材料・デザイン、歴史・環境・設備などもともと全違う学問が一つになって構成されて

ており、いわば工学部に先立って横断的に学んでいる分野です。本学では「スローガ」に「未来のエスキースを描く」を掲げ、その中で「ひろく学び、知をつなぐ」ことを提供価値と定めています。課程制はまさに本学のこれからの分野横断的な学びにつながる、スローガに沿ったものとなります。この分野に特化しない広い学識がある人材は多様なニーズに応えられるため、社会に出てから有用な存在となります。検討を進め、分野横断的な学びを全学的に進めていきます。加えて、大卒として、A1とグリーン教育も全学生必修科目として設定しています。これは工業大学として、この学科で学んでいる学生であって、これから先、最低限持つべき知識となります。

学生や卒業生を受け入れている企業へのメッセージを。

渡邊 人材確保が各業界で喫緊の課題になっているほか、働き方改革もあり大きな転換期を迎えています。外国人も含め、さまざまな人材が活躍する世の中になってきています。大学も留学生の受け入れや教育の内容なども見直しをしなければなりません。企業の方々に変化を柔軟に受け入れていただければありがたいです。また、建築学部のころから創設50周年記念のパレードでの講演会や企業図鑑



2022年9月完成の八木山キャンパス実験・教育棟「Tech-Lab」(テクラボ)

東北工業大学建築学部完成、卒業生初輩出おめでとうございます (順不同)

建築学部開設、卒業生初輩出おめでとうございます

清水建設株式会社

常務執行役員支店長 清水 康次郎

東北支店 / 仙台市青葉区木町通一丁目4番7号
電話 022-267-9111(代表)

スマートな未来へ New Business Contractor

飛鳥建設株式会社

東北支店
執行役員支店長 山上 雅弘
〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-1-53 TEL.022(275)9951

株式会社 ナカノフード建設

代表取締役社長 飯塚 隆
〒102-0073 東京都千代田区九段北四丁目2番28号 NF九段
TEL.03(3265)4661代

株式会社 福田組

東北支店
上席執行役員支店長 追木 博幸
〒980-0804 仙台市青葉区大町二丁目10番14号
TEL.022-722-1810 FAX.022-722-1737

地域ビルダーとして社会に貢献する

赤坂建設株式会社

代表取締役 佐藤 渉
本社 / 仙台市青葉区上谷川字赤坂9-2
TEL.022(372)511代 FAX.022(372)3501

ここを、ひとつに。他にない、ひとつを。

株式会社 阿部和工務店

代表取締役社長 船山 克也
古民家再生、神社・寺院建築も承ります
仙台市青葉区上谷一丁目17番18号阿部ビル
TEL.022-264-0411 TEL.022-225-5244
https://www.abekazu.co.jp

15年 人・仕事・社会を磨き続け、建設事業を通じて、社会に貢献する

松井建設株式会社

執行役員東北支店長 菱沼 久徳
東北支店/仙台市青葉区一番町3-1-1 TEL.022-263-1521

向井建設株式会社

東北支店
常務取締役東北支店長 稲村 忠夫
〒980-0811 仙台市青葉区一番町二丁目5-17
TEL.022(267)2611 FAX.022(267)3159

私達は、「信頼」を基に皆様の「思い」を「創造」して行きます。

株式会社 ARM

代表取締役 阿部 奨
〒982-0802 仙台市太白区八木山東1丁目16-22 1F
TEL.022(307)6522 FAX.022(307)6523

それは 未来へ残す ものづくり

株式会社 小原建設

代表取締役社長 小原 学
本社 / 岩手県北上市村崎野15地割312-8
TEL.0197(66)3125 FAX.0197(66)5438
西和賀営業所 / 岩手県西和賀郡西和賀町清水ヶ野18-3-7
TEL.0197(84)2142

未来をつくる DNA 環境・生活・企業

SASAKI

株式会社 佐々木組

つくります あなたの笑顔と 信頼と

阿部建設株式会社

代表取締役 大槻 秀樹
本社 / 仙台市青葉区中江2丁目23-20
TEL.022(223)8115代 FAX.022(216)3550

The Heartwarming Company. やさしさ思いやりで未来をひらく。

株式会社 小野組

代表取締役社長 小野 貴史
東北支店 / 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台3F
TEL.022(727)7220 FAX.022(727)7223
URL http://www.ono-gumi.co.jp

一般社団法人

和合館工学会

WAKAGAN Culture Crossing Center of Engineering
学舎長 今西 肇 (東北工業大学名誉教授)
仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台3階 TEL.022(272)3130

100年企業その先へ

TAKAYA

SINCE 1930
〒020-8588 岩手県盛岡市本宮五丁目5番5号
代表取締役社長 細屋 伸央

自然にやさしい、人にやさしい

千田工業株式会社

代表取締役 千田 弘美
岩手県北上市九郎一丁目10番29号
TEL.0197-63-3207

総合建設業 地域とともに75年

佐藤工業株式会社

代表取締役社長 八巻 恵一
本社 / 〒960-8610 福島県福島市泉字清水内1番地 TEL.024-557-1166(代)
支店 / 郡山・伊達・相双・仙台

地域とともに これまでも これからも 国土交通大臣許可(特)第528号

関場建設株式会社

代表取締役社長 関場 直隆
本社 南相馬市原町区錦町一丁目一番地 ☎(0244)25-2525(代)
ホームページ https://www.sekiba.co.jp Eメール sekiba@sekiba.co.jp

人に、街に、大地に。

仙建工業株式会社

代表取締役社長 中村 知久
本社 / 〒980-0811 仙台市青葉区一番町二丁目2-13 TEL.022(225)8511

夢、かぎりなく。 定時通達 創業明治11年 145周年

株式会社 橋本店

www.hashimototen.co.jp

平野組

代表取締役 大沼 昭
本社 / 〒982-0012 仙台市太白区長町南一丁目8-18
TEL.022(308)3788代 FAX.022(308)8565 https://www.build-s.jp

地域と融和し豊かな未来を

DOHZI 同事建設株式会社

代表取締役 芦野 正吉
〒982-0037 仙台市太白区富沢西4-19-19
TEL.022(307)4384 FAX.022(307)4306

まちを、ワクワクさせる建設会社

中城建設株式会社

代表取締役 結城 創
本社 / 仙台市宮城野区幸町2丁目23-1
TEL.022(297)1611 FAX.022(299)6761

ふるさとに「にぎわい」と「元気」を創る地元ゼネコン

株式会社 仁田工務店

本店 〒021-0883 岩手県一関市新大町124番地 ☎0191-23-2740
仙台支店 〒981-3185 宮城県仙台市青葉区八乙女中央1丁目1番6号 ☎022-797-3050

この街をあなたとともに 総合建設業

株式会社 深松組

代表取締役社長 深松 努
本社 / 〒981-0966 仙台市青葉区荒巻本三丁目18-1 TEL.022(271)9211
東北営業所 〒987-0511 釜石市迫町佐沼字萩1-2-11 TEL.0220(23)2871

空から見える、いい仕事。

株式会社 丸本組

代表取締役社長 佐藤 昌良
本社 / 宮城県石巻市思ひ野三丁目1番地2 TEL.0225(96)2222
仙台支店 / 仙台市青葉区国分町三丁目11番9 TEL.022(797)4744

特別講演

「これからの建築を考えようーみんなの家を通してー」

建築家・伊東 豊雄氏(伊東豊雄建築設計事務所)、妹島 和世氏(妹島和世建築設計事務所)



伊東氏

震災があった年の秋に、第1号のみんなの家を仙台市の宮城野区につくった。仮設住宅に住み始めたばかりの方たちが集まってくださり、どのような空間が望ましいか打ち合わせを行い、さまざまな意見を反映させながら完成を迎えた。仮設住宅での生活を余儀なくされた人から「仮設住宅は自分の家に帰ってきたと思えなかったけれども、みんなの家のおかげでやっと自分の家に帰って来たような気分になれた」と言ってもらえて感激した。みんなの家は縁側があり、土間があり、まさに昔の記憶の中にある民家、日常を縮小した建築なのでそう感じていただけたのだと認識している。それまで、都市の住宅ばかりを考えていたが地方のコミュニティー、家づくりを考え直すきっかけになった。

2001年に開館したせんだいメディアテークは、私の人生でも印象深い作品だ。完成までさまざまなコンペティションなどを繰り返す中で、私は社会に呼ばれていない建築家ではないかと考えていた時期もあった。しかし、実現し、多くの方々が使ってくれたことで建築を造っていく勇気と生きる力をもった。人に生きる力を与える建築とは①精神の豊かさ、自由を感じさせる②一人でいても人とつながっていることを感じさせる③生きていく勇気や未来への希望を与えてくれるーものだと考える。



みんなの家について語る伊東氏(右)



妹島氏

「みんなの家」をつくっていく中で心に残ったことが2点ある。まずは、私自身がまちのことを考えていた時に、地域住民が「孫の代に自慢できるまちを、自分たちでつくってほしい」と話している声を聞き、「自分たちで町を良くしよう」という思いがあれば、自分たちでまちを創ることができると気付くきっかけになった。また、みんなの家をどのようにすればより使用してもらえるかを模索していた際に「自分の家だと思って使うから心配しなくて大丈夫」と言ってもらえたことも印象深い。それまで、公共建築を設計する場合などに、まちに自分自身が関わるといことを、想像できていなかった。

た。しかし、みんなの家を通して自分も社会を形成する一員だと思えるような場所を造っていきたくて考えるようになった。従来から建物内部での利用者同士の交流を促すことを考えていたが、みんなの家に携わってからは、その風景の一部として地域に根差す、地域に足がつく建築として建物が風景の一部になり、来た人々も使用することで建築物の一部になれるような建築を目指して設計している。



妹島氏による特別講演

ディスカッション

伊東 豊雄氏×妹島 和世氏×柳澤 潤氏×近藤 哲雄氏

モデレーター：福屋 粧子(東北工業大学建築学部教授)

伊東氏 地元の人たちがほかの地域に移らず、どのようにすればそこに残ってくれるかを考えることも重要だ。知人の言葉で「文化は土に向かうこと、文明は土から離れていくことだ」というのが印象に残っている。文化はその土地、地域と向かい合うことで成熟して成り立つ。一方、文明は技術さえあればすぐに発達して、土から離れていく。みんなの家を通じて文化を考えることが、その土地の人々が残ってもらえることにつながるはずだ。



伊東氏(右)と柳澤氏

妹島氏 日常のさまざまな出来事は、建築につながっている。「ここまでが建築に必要な要素だ」と自分で分けてしまえばもったいない。自分が過ごす時間を大切にしながら、建築に関わってほしいし、若い人たちは、大きな可能性を持っている。自分の思うことをやり続け、さまざまな要素に対応しながら建築に取り組んでほしい。



柳澤氏 現大学4年生は入学当初からコロナ禍で外に行けずオンライン授業が多かった。しかし、建築を直接見に行かないと、いくら頭で考えてもわからない部分がある。とにかく建築を生で見てほしい。そして、その土地の人たちと対話し、学生だから

こそできる質問を投げ掛けることも大切だ。今の大学教育はなるべく学生に失敗しないように配慮する前提となっている。失敗しないために、さまざまな伏線を持って人生を送っているとすれば、その中に建築が介在する意味はない。さまざまな人と携わり、建築を見て、自分を削って、失敗を重ね今後の人生、これからの社会に立ち向かうことを願う。



近藤氏 学校の課題は人との差異を競うものが多いが、建築家の活動は社会に深く接続していて、人とは違っていても今学んでいること、設計したものはそこで終わりではない。違うプロジェクトに生かされたり、また違

最後に特別講演を行った伊東氏、妹島氏に建築家の柳澤潤氏(コンテンツ・リサーチ)と近藤哲雄氏(近藤哲雄建築設計事務所)を加え、ディスカッションを展開。みんなの家への思いを語ったほか、それぞれが学生へエールを送った。

うことにつながっていくと考えている。われわれは常日頃、「新しい建築とは何か」を模索するが、最先端の建築とは、誰も見たことがないながらも、なるべく文化的な部分や新しい部分を排除せず、すべての要素を踏まえていけるようなものだと思う。



妹島氏(左)と近藤氏

八木山キャンパス5号館見学会

記念講演会に先立ち、建築学部と建築学科同窓会・尚建会(野津弘会長)の主催により、解体が予定されている東北工大八木山キャンパス5号館の見学会も実施した。約60人が参加し、当時使用していた懐かしの教室、演習室などをめぐり、それぞれの思い出話に花を咲かせた。



参加者で集合写真



5号館データ

設計=山田守建築事務所、
施工=鹿島
竣工:1968年3月
構造:RC造、一部SRC造、
地上5階・地下3階建て

1978年の宮城県沖地震で壊滅的な被害を受けたが耐震補強を繰り返し、2011年の東日本大震災では大きな被害もなく大地震に耐えた。50年以上にもわたり約9000人の卒業生を輩出してきたが、22年10月に竣工した実験・教育棟(愛称「Tech-Lab(てくらぼ)」)の完成により役目を終える。

懇親会

報告会・講演会終了後は懇親会を開催し、卒業生、学部生らが交流を深めた。来賓として駆け付けた東京大学名誉教授・工学院大学名誉教授の長澤泰氏と、台湾・中原大学教授で台湾建築学会理事長の曾光宗氏があいさつ。

また、在学生3人が「東北工大で建築を学んで」をテーマにそれぞれの思いをスピーチした。



渡邊学長の乾杯の首領で祝宴に移った

建設新聞社HPにも企業様から在学生・卒業生へのエール文を掲載していますので、是非ご覧ください。

東北工業大学建築学部完成、卒業生初輩出おめでとうございます

(順不同)

太平電業株式会社
https://www.taihei-dengyo.co.jp
豊かな社会とこれからも。× 社会の当たり前を支える。
本社 〒101-8416 東京都千代田区神田神保町2-4 TEL:03-5213-7211 (代表)
代表取締役社長 野尻 稔
東北支店 〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央4-10-3 JMFビル仙台01 16階 TEL:022-225-5031
執行役員 東北支店長 龍野 淳一

宮城建設株式会社
代表取締役社長 菅原 博之
〒208-8031 岩手県久慈市新中の橋第4地割35番地の3
TEL:0194-52-1111 FAX:0194-52-1297

株式会社 八重樫工務店
代表取締役 八重樫 司
本社 〒989-1245 宮城県柴田郡大河原町字新南20-5
TEL:0224(52)1736 FAX:0224(53)4778
URL:https://www.yaegashi-k.co.jp

SANKEN 三建設備工業株式会社
東北支店長 吉嶋 克彦
〒980-0014 仙台市青葉区本町1-13-22
TEL:022(221)3331 FAX:022(225)4108

DS 第一設備工業株式会社
代表取締役社長 田島 久男
〒108-0023 東京都港区芝浦4-15-33 TEL:03(5443)5100

大成設備株式会社
代表取締役社長 田行 啓一
本社 〒163-0217 東京都新宿区西新宿2-6-1
TEL:03(6302)0150

ダイタン 東北支店
執行役員支店長 平間 浩
〒980-0811 仙台市青葉区一番町1丁目15番17号 TEL:022-225-7901
http://www.daidan.co.jp/

変わるをつくる
ECOLA
代表取締役 百田 好徳
本社 仙台市青葉区春日町9番15号 THE6 3F TEL:022(395)4131 FAX:022(395)4132
郡山支店 福島県郡山市朝日1丁目6-9 OKADA BLDG.2F TEL:024(991)4335 FAX:024(991)4588
URL:https://ecola.co.jp/

時代の呼吸に応える技術
東洋熱工業株式会社
代表取締役 谷口 昌伸
執行役員支店長 長嶋 栄治
本社 〒104-8324 東京都中央区京橋2-5-12
東北支店 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-12-7 三共仙台ビル6F
TEL:022(264)2181 FAX:022(227)9375

屋根のリーディングカンパニー
Sanko 三晃金属工業株式会社
東北支店長 中山 尊博
東北支店/仙台市青葉区木町通1-8-28 三晃木町通ビル 4F

株式会社 興盛工業所
代表取締役 小林 照和
〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町1-1-35
TEL:022-236-3511 FAX:022-236-3661

暮らしを支え、未来へつなぐ
東北の総合エンジニアリング企業
DAIWA 大和電設工業株式会社

確かな技術で地域の幹となり夢を支える
電気・空調・給排水衛生工事 設計施工
隼電気株式会社
代表取締役社長 千葉 ミオ
本社 〒984-0042 仙台市若林区大和町五丁目30番22号
TEL:(022)284-8823 FAX:(022)284-8831

Yurtec 株式会社 ユアテック
取締役社長 太田 良治
〒983-8622 仙台市宮城野区榴岡4丁目1-1
TEL:022(296)2111(代)

豊かなる未来に向けて
株式会社 成和
代表取締役社長 高橋 省一
本社/宮城県大崎市鹿島台木間町字在家117番地 TEL:0229(25)3541 FAX:0229(25)3542
鋼管工場/宮城県大崎市鹿島台木間町字新三丁目19番地 TEL:0229(56)3588 FAX:0229(56)2681
https://www.seiwa-matsushima.co.jp/

有限会社 加藤工務店
〒987-0331 宮城県登米市山町中津山字高橋297-1
KATO KOMUTEN TEL:0220-29-5505 FAX:0220-29-5506

秋田の暮らしに「ぴったり」の家。
株式会社 サンコーホーム
https://www.sanko-home.co.jp/

室内気候をデザインする
放射冷暖房と加湿器の専門メーカー
ピーエス株式会社
TEL:03-3485-8189 / Mail: info@psk.co.jp SINCE 1960

藤井産業株式会社
代表取締役社長 藤井 昌一
〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地41番地3
TEL:028-662-6060 FAX:028-662-6063
Mail:jinn@fh.fujii.co.jp URL:http://www.fujii.co.jp/

地域を動かす仕事を。
吉田産業
株式会社吉田産業 代表取締役社長 吉田 誠夫
〒031-8655 東京都八王子市三好町 TEL:0178-47-8111 FAX:0178-47-8121
専攻内容:建設費、運賃費、土木費、住宅設備機器の販売および施工、各種情報の販売

SPACE HOUSE **スペースハウス 製造元**
株式会社 オオマチワールド
代表取締役社長 鈴木 敦
本社 〒983-0006 仙台市青葉区本町2-30-46 TEL:022(387)10800 FAX:022(786)0233
支店/仙台、盛岡、福島、いわて、宮城、秋田

SHOBUNDO
www.shobundo.biz
株式会社 庄文堂
仙台市青葉区中央2-5-9 庄文堂ビル3F 〒980-0021
tel:022-223-2321 fax:022-263-1488

総合資格学院
仙台校 仙台市青葉区白根1-1-17
TEL:022-217-8421
法人講座 建築士試験 建築士試験 建築士試験
建築士試験 建築士試験 建築士試験

SENDAI MARK ONE
第一ビル株式会社
取締役会長 佐々木 光雅
〒980-8485 仙台市青葉区中央1丁目2-3 仙台マークワン11F
TEL:022-265-4311 FAX:022-265-4315
https://www.dai1bldg.co.jp